

ふるさと
よもぎま
「私の加茂」
その8




隣の田上町から嫁いで四十年が経とうとしていきます。田上で暮らしているよりも加茂に来てからが永くなりました。加茂にお世話になっております。子ども心に加茂は賑やかな町という印象で、農家に生まれた私にとっては憧れでもあり、怖さみたいな感情を持ち合わせていたと思います。

加茂は四と九の日は“市”が立つ日です。祖

母は前日から市ごしらえをして、市の当日は午前三時頃に祖父に送ってもらい売り物に出かけます。家に帰ってくる時は風呂敷に包んだ沢山の食料を買ってくるのです。その中には孫たちのためのお菓子が必ずありました。祖母が加茂の市の売り物に行く日の夕方はとても楽しみにして帰りを待っていたものです。嫁いでは、加茂の町通りに市が立ち、売物をする農家の人たち

(有)花屋仁助
副社長 石附孝子

と商店街で買い物をする人たちの賑やかな会話は活気があり、とても心地よく聞こえ、心がわくわくしました。

中学生の時、自転車で田上中学校から七谷中学校まで陸上の練習試合に行ったことがあります。走行距離は何キロあるのでしょうか？部員全員が自転車で行く七谷中学校まで行き、練習を終えてまた自転車で行く。その頃はよく見かけた光景でしたね。今となつては考えられません。七谷中学校からの帰り道、先生の目を盗み、友達三人で葵橋の袂にあった映画館で『ロミオとジュリエット』を観て帰った思い出があります。私の記憶が正しければ、映画館は畳敷き……だった。だって「口

ミオとジュリエット」をお菓子を頬張りながらがまって観ていたんですから。加茂のいろいろな思い出が蘇ってきます。

今、加茂商工会議所からのご縁で『工房雪樫の花びら染』に参加させていただいております。まだまだ初心者ですが、先輩のお姉さま方から丁寧なご指導をいただき、楽しく作業しております。『加茂の良いところ、良いものを市内外に伝えるお手伝いに参加する！』ことが唯一、私の自慢できることです。



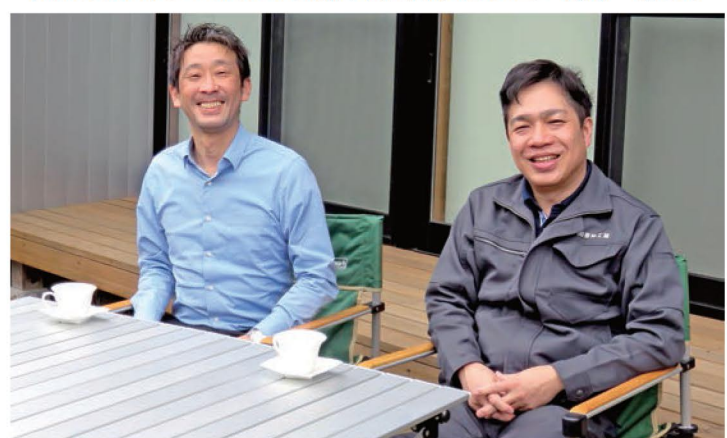
雪樫の花びら染
レースハンカチ

(有)花屋仁助／加茂市穀町9-12 TEL:0256(52)0818



市内事業所の
個性豊かな社長さんや
店長さんなどの意外な交友関係をご紹介します。
いつかあなたにも繋がるかも？

いいともバトン：No.28 登場の吉田光孝さん ➡ 阿部 明さん



左／阿部 明さん(45歳) 右／阿部隆行さん(44歳)

いいとも No.28

「阿部精麦(株) 専務 阿部明さんの“とものわ”は「(株)豊和工業」社長 阿部隆行さん。お二人の出会いは中学校の入学式。同じ学校、同じクラス、そして同じ苗字なので出席番号も3番と4番の隣り合わせに！必然的に仲良くなり、部活動も同じバスケット部に入部。卒業後は別々の高校に進学しましたが、ツーリングや海水浴、スキー等、よく遊んでいたそうです。上京するタイミングも一緒に、繁華街に繰り出しては社会勉強をしていたとか…。加茂に戻ってからは、お互い家業に入り青年部にも入会しました。最近では早朝ゴルフを楽しみ、スーパーで買い出しをして、隆行家の庭でBBQをするのが毎年の恒例です。30年以上経っても続く友情…これからも楽しいことが沢山ありそうですね。